



japanordic
北欧研究所

デンマークの保育・教育制度

デンマークでの初等教育から高等教育、そして生涯教育に至るまでの教育システムは、どのようなになっているのだろうか。本レポートは、デンマークの教育制度の仕組みに加え、日本では存在しない「エフタースコーレ」という、中学校から高等学校までの間に1年間、選択して通うことのできる学校についても調査をし、その内容をまとめたものである。本調査は、デスクトップ調査に加え、実際に足を運んで現場の当事者などにインタビューを行った結果をまとめている。

CONTENT

01

義務教育 (Primary and lower secondary education)

- 公立学校 (Folkeskole) の教科
- テスト
- 卒業試験
- 評価
- 放課後クラス
- 近年の課題と傾向

02

中等教育 (Upper secondary education)

03

高等教育 (Higher education)

- 専門職学士学位
- 学士学位評価
- 修士学位
- 博士学位
- 近年の課題と傾向

04

生涯教育 (Adult and continuing education)

05

参考

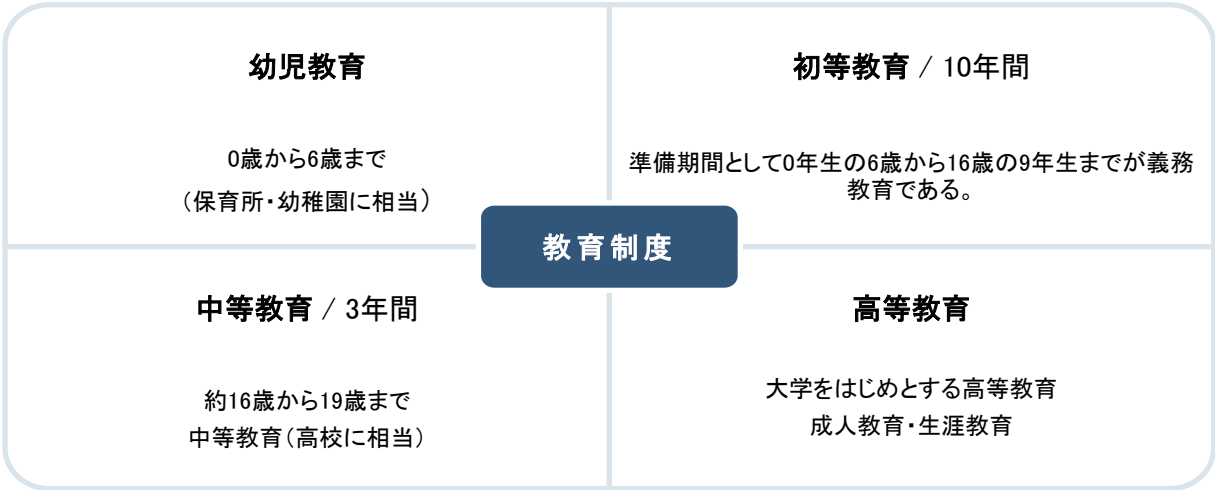
06

エフタースコーレ協会

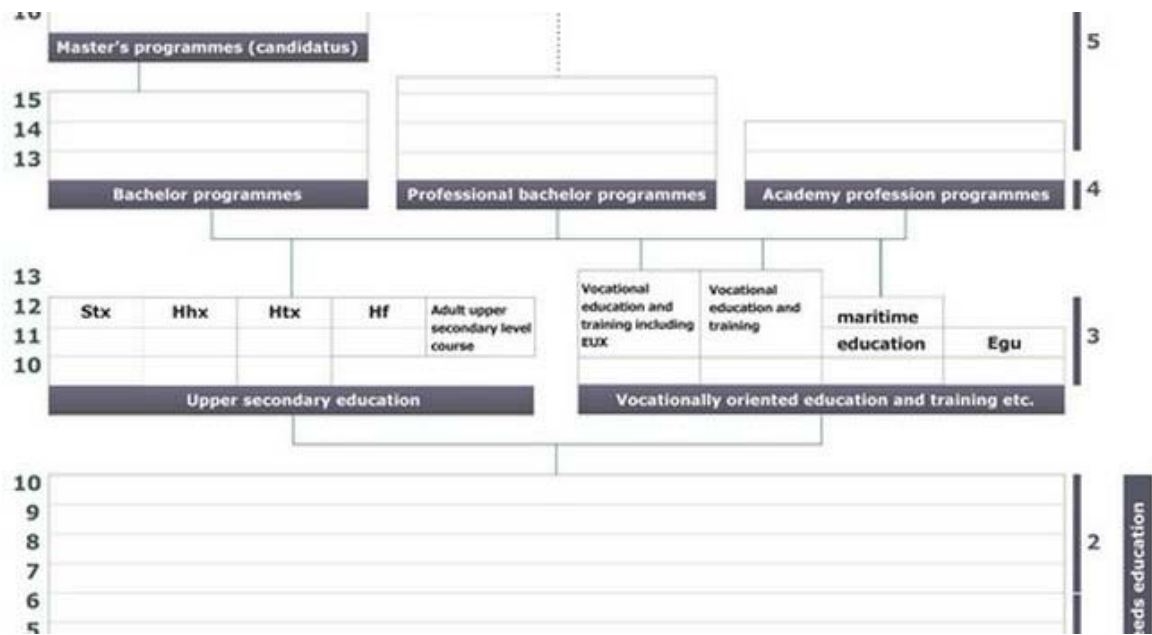
- 学校の特徴
- 教師
- 学校生活
- エフタースコーレのメリット
- 近年の課題と傾向
- 参考

デンマークの保育・教育制度

デンマークの教育制度は以下のように大別できる。(※図1参照)



※図1:デンマークの教育システム



Danish Ministry of Education: <http://eng.uvm.dk/Education>

01

義務教育 (Primary and lower secondary education)

6-16歳の子供を持つ家族には学校に関する情報が送付される。通常、近隣の公立学校 (Folkeskole) に通学することになる。しかし、国の義務教育基準を満たしていれば、公立、私立、家庭での教育を選択することもできる。初等教育では約78%が公立、16%が私立 (2015年)^[1]に進学する。1クラスは原則28人以下とされているが、特例で30人まで認められる場合もある。

0年生と言われる準備クラスを含め授業料は無料。教育関連法に則っていることが条件であるが、教育要項詳細は地方自治体に委任されている。0年生は通常6歳の子供が対象となる。数やアルファベットの勉強に当てられ、協調作業などを行い、社会性を育てることを目的とする。0年生を含む6歳からの初等教育・中等教育の10年間が義務教育である (0年生は、2009年8月に義務化)。

10学年は選択制で、9年生終了時に教師により学力が足りないと考えられた子供や、学力に自信がない子供、進路に不安のある子供が、公立学校や全寮制のフリースクールでさらに1年学びながら、自分のキャリアについて考えながら勉強する期間。2015年には、50%以上が10年生に進学している。^[2]

公立学校(Folkeskole)の教科 / 01: 義務教育

01 社会人文科学系教科	国語(デンマーク語) 全学年
	英語 3-9年生
	キリスト教学 全学年
	歴史 3-9年生
	社会 8-9年生
02 実務創造性系教科	体育 全学年
	音楽 1-6年生
	ビジュアルアート 1-5年生
	デザイン、木/ 金工、家庭家 4-7年生のうち1学年以上
03 理化学系教科	数学 全学年
	理科 1-6年生
	地理 7-9年生
	生物 7-9年生
	物理/ 化学 7-9年生

この他、交通安全、保健、家族学、労働市場教育なども1-6年生の中に組み込まれるほか、7-9年生でドイツ語/ フランス語の選択授業がある。さらにこれ以外にも8、9年生でいくつかの選択科目（写真、映画、ドラマなど学校によって異なる）が設けられる。その他、グリーンランドやフェロー諸島出身の子供を含め、必要であれば、第二言語としてデンマーク語の授業を選択することも可能。

テスト / 01: 義務教育

テストは全国共通で、コンピューターベースシステム。^[3]テストは生徒ひとりひとりの学習レベルに出題傾向が適応していくシステムになっている。つまり、生徒が正答すれば次の問題は難しくなり、誤答を繰り返せば出題レベルも徐々に優くなるため、すべての生徒が少しずつ違ったテストを受けることになる。ちなみに出題内容は公開されることはない。

このテストは各学校の教育状況を確認するものであるため、この結果で成績が決まることはない。

テスト教科表

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
国語		○		○		○		○	
英語							○		
数学			○			○			
地理								○	
生物								○	
物理科学								○	

卒業試験 / 01: 義務教育

9年生終了時に、すべての生徒は記述と口述による全国共通の卒業試験を受けなくてはならない。このテストは義務教育終了時に、きちんとした学力を保持しているかどうかを確かめるものである。可否の概念はないが、一定の学力を保持していない場合、中等教育進学する際に成績不足となることや、教師から10年生を進められることもある。テストは教科ごとに異なった評価基準を持つため、全体の平均点が出されることはない。希望者は8年生で模擬テストを受けることができる。10年生は選択制だが、テストは9年生のものより高いレベルに設定されている。

試験科目 / 01: 義務教育

必須	国語 記述 口述
	英語 口述
	数学 記述
	理科/ 化学 記述
	社会・人文科学系: 英語もしくはフランス語、ドイツ語(記述)、歴史、社会、キリスト教学
	理化学系: 地理、生物

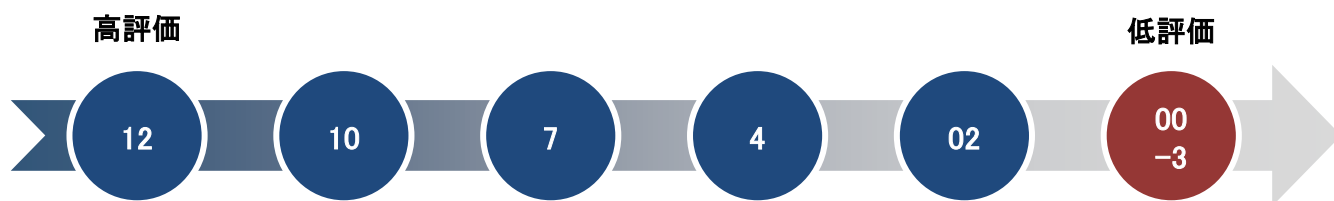
試験は必須の5科目に加えて、社会・人文科学系から1科目と理化学系から1科目をランダムで加えた7科目で構成される。10年生が受験する場合、国語、英語、数学、理科/化学、ドイツ語もしくはフランス語の中から1つ以上選んで受けることができ、加えて9年生レベルの国語、数学、英語、理科/化学の教科の中から1つ以上選んで試験を受けることができる。もしくは9年生と10年生レベルを混合したものも選択できる。

プロジェクト試験 / 01: 義務教育

卒業試験に加え、総合的学習レベルを図るためのプロジェクト試験が行われる。
これはプロジェクトについてのまとめ、発表、そして意欲態度の3つの側面から評価される。
希望者は評価を卒業証書に記す事も出来る。

評価 / 01: 義務教育

テストや試験に用いられる評価は、デンマークと他の国の基準との互換性を持たせるため、
7段階評価になっている。一番よい評価が12で、10, 7, 4, 02, 00, -3と続く。
00, と-3は不合格である。



放課後クラス / 01: 義務教育

共働き家庭が約80%のデンマークであるが、6-10歳までのクラスは昼過ぎに終了する。そのため、就業前後に子供が過ごす場所として、“SFO”(Skole Fritids Ordning)と呼ばれる学童のようなものや、“自由時間を過ごす家(Fritidshjem)”と呼ばれる余暇学校が学校もしくは周辺に独立して存在する。開校時間は7:00-8:00及び12:00-17:00とする施設が多いが、学校によって異なる。

この放課後クラスは、学校の教師とは別の教育資格保持者が担当し、学校が通常面倒を見ないクラブ活動や、宿題の面倒を見てくれる場合もある。費用の70%以上は助成金で賄われることが義務付けられている。基本的に保護者負担がない場合がほとんどだが、いくらか負担する例も見られる。



国際化対策

デンマークには英語やフランス語、ドイツ語を校内での公用語とするインターナショナルスクールが24校ある。さらに、2015年にデンマーク国会は2016年より地方自治体による国際学校の設立を決定した。これは、海外からの高度人材や、外資系企業の誘致策の一環でもある。



公立学校での教育

公立学校離れが進む中、公立学校での教育の質と量を高めるための改革が広まっている。2014年の改革では週あたりの授業時間が増加、低学年では週に9時間増加となった。現在も議論が続けられ保護者と教師からは賛否両論が出ている^[4]

02

中等教育 (Upper secondary education)

中等教育は、高等教育への準備機関である一般教育プログラムと労働市場に直結する専門職教育プログラムに分けられる。国際基準(BI)に準拠した中等教育のインターナショナルスクールが15校ある。2015年には18歳から25歳のデンマークの若者のうち78%以上が中等教育を受けている、または修了している。^[5]

前者は、大学入学への3年間の準備プログラムであり、入学条件は基本的に初等教育卒業資格と卒業試験だが、学校が必要と認めた場合には、入学試験を受けなくてはならない。それに加え、10年生卒業者はHFという学校で2年間の教育プログラムを選ぶことも出来る。

一般教育プログラム

- STX: 人文科学、社会科学や自然科学などの広い一般的な分野
- HHX: ビジネスや社会経済などの商業系プログラム
- HTX: 技術や科学などの技術系プログラム
- HF: 人文科学、社会科学や自然科学などの広い一般的な分野(10年生修了者対象)

03

高等教育 (Higher education)

高等教育とは、専門職学士から博士までを含む。
日本と異なり、通常は修士までの5年間教育を受ける。
学士で就職する人はまれである。

専門職学士学位 / 03: 高等教育

期間は1年半から2年半で最低3か月の就業体験を含む。EUの単位システムECTUを(90-150)取得する。プログラムは市場管理、コンピューターサイエンス、化学、バイオテクノロジー科学などで構成される。

学士学位 / 03: 高等教育

中等教育卒業資格に加え、分野により入学試験や追加条件が課されることがある。学士は3つの種類に分かれている。学士過程は、該当分野において実践的な知識や手法、理論を学ぶ場、また、修士プログラムの準備期間と位置付けられている。

専門職学士課程

3-4年(180-240ECTS)で実習と理論研究を基本とした教育と最低6か月の就業体験を含む。この学士の対象は看護師や中学校教員、エンジニアなどで実習と論文の両方が義務付けられている。

学士課程

3年(180ECTS)の教育でプログラムは研究を基本として行われる。すべての科学分野のプログラムが提供されている。

芸術学士課程

3年(180ECTS)の教育で入学試験が設けられている事が多い。プログラムは研究と芸術的研究を基本とし、建築やデザイン、アートなどの古典美術を学ぶ事ができる。演劇、映画製作の学位には4年(240ECTS)の教育が必要。

学士単位履修課程

2年間の単位履修(60ECTS)で実習と理論研究を基本とした成人教育のプログラムで、関連した修士課程に進む権利を得られる。入学には中等教育卒業資格と関連した職業での職務経験を最低2年必要とする。

修士学位 / 03: 高等教育

修士課程とは一般的に、学士の延長としてとらえられるためプログラムに関連した学士学位を必要とする。また、より高度な専門知識を獲得し専門職につなげる課程と位置づけられる。学士・修士課程の学生は条件を満たすことで、学生援助金(返済義務有り無し)^[6]の対象者となる。

修士課程

ほとんどの修士課程は2年(120ECTS)だが、獣医学は2年半(150ECTS)、医学は3年(180ECTS)の教育課程と修士論文(30ECTS)を含む。

芸術修士課程

2-3年(120-180ECTS)で研究と芸術的研究ベースのプログラムで行われる

修士単位履修課程

(成人教育):2-3年(60-90ECTS)の単位履修。研究ベースで行われ、高度な人材を育成するためのプログラム。入学には関連した学士学位と関連した職業での職務経験を2年以上必要とする。

博士学位 / 03: 高等教育

博士課程は、180ECTS取得が義務付けられる3年間の教育課程である。

博士課程は指導教官の指導のもと、国際レベルの研究を行うこと、高等教育に携わることなどが求められ、博士公聴会を経て、各分野の博士号が授与される。多くの場合、博士在籍期間は専門職として給与が支払われる。



国際化

近年、海外の優秀な学生を高等教育に誘致するため、語学教育の重視が議論されるなど、教育プログラムにおける国際化への試みが継続して行われている。2007年から国際的な視野を持つことを目的とし、ヨーロッパ単位互換制度(ECTS評価: European Credit Transfer System)に互換性をもたせるため7段階システムを導入した。これは全教育段階に共通している。2007年から2013年にかけてデンマークで高等教育を学ぶ外国人は2倍にまで増加している^[7]。



教育期間短縮への試み

高等教育機関の学生平均年齢は、EU内で最高の25.5歳(2007年)で、EU27カ国の平均22.2歳に比べ2.3歳高い。教育修了遅延は、労働市場への参入を遅らせ、さらに勤労年数短縮を招くとし、教育市場から労働市場への順調な移行が求められている。現在、高校卒業後2年以内に大学等の高等教育を開始する学生に対して入学を有利にする措置を開始、返済義務のない奨学金の支給規則の変更などが試みられている^[8]。



生涯教育 (Adult and continuing education)

デンマークでは、ヨーロッパの中でも生涯教育が盛んな国のひとつであり、政府だけでなく、会社も積極的に教育を受けさせる機会を設けている。
提供される生涯教育は職に直結する教育と、人生をより豊かにする教育の2種類がある。

職に直結する技能の獲得を目的とする基本的な成人教育

- ・ G V U: 手に職を付けることを目的とした教育を行う

現在の技能の維持、向上高度な技能の獲得を目的とする職業訓練

- ・ A M U: 技術の向上を目的とした教育を行う

基礎学習の提供を目的とする成人教育

- ・ H F: 中等教育レベルの教育を行う
- ・ A V U: 初等教育レベルの教育を行う
- ・ F V U: 読み書きや数学などの教育、A M Uを補足する準備コース

短期の職業訓練プログラムでは労働市場で有益な技能の獲得を目的とした教育が提供される。これらは単位の取得があり、それに加えて何らかの資格試験（クレーンの運転免許など）がプログラムの中に組み込まれており、ほぼ全員が合格できる。

後者（Non-formal Adult Education）は自主的な成人学習であり、教育の形を取るものの、単位の取得などは限定的である。これらはNPO、ボランティア活動、大学教育の延長などが挙げられる。期間も2週間から1年間と幅広い。

05 参考

全体把握に参考にした資料群

JETRO コペンハーゲン事務所, デンマークの社会保障制度, 2002

安岡美佳 鈴木優美, デンマークの電子政府政策にみる税・社会保障情報の管理と活用『海外社会保障研究』第172号, pp.17-30, 9月刊行, 2010

- Danish Agency for Universities and Internationalization: <http://en.iu.dk/education-in-denmark/the-danish-education-system>
- Ministry for Children, Education and Gender Equality: <http://eng.uvm.dk/>
- Ministry of Higher Education and Science: <http://ufm.dk/en>
- Danish Adult Education Association: <http://www.daea.dk/>
- Danmark Statistik: <https://www.dst.dk/da>

引用文献

- [1] <https://www.dst.dk/da/Statistik/emner/fuldtidsuddannelser/grundskole>
- [2] <http://www.uvm.dk/Service/Statistik/Statistik-om-folkeskolen-og-frie-skoler/Statistik-om-elever-i-folkeskolen-og-frie-skoler/Elevtal-i-folkeskolen-og-frie-skoler>
- [3] <https://www.thelocal.dk/20140811/denmarks-public-schoolchildren-enter-a-new-era>
- [4] <https://testogprøver.dk/>
- [5] <https://www.dst.dk/en/Statistik/emner/befolkningens-uddannelsesstatus>
- [6] 詳細は、『デンマークの社会保障制度』参照
- [7] <http://ufm.dk/en/newsroom/news/2015/considerably-more-international-students-pursuing-a-full-study-programme-in-denmark>
- [8] 『デンマークの雇用政策』参照

06

エフタースコーレ協会

デンマークでは中学卒業後に勉強に自信のない子供、将来を考える時間の欲しい子供は選択制で年間高校入学前に10年生と呼ばれる時間を確保することができる。この10年生という期間では、公立学校に続けて通っても、お金を出してエフタースコーレに通っても良い。エフタースコーレは1851年に設立された。現在260校が存在し、1万7,000人の生徒が在籍している。ちなみにコペンハーゲンには2校のみが存在する。既存していたホイスコーレとN.F.S.グルトガントヴィ(N.F.S Grundtvig)の提言したアイデアを基に、公立学校が提供するシステム化された普通教育とは違う、自己を理解し、人生をより豊かにし、市民性や地球市民性を育てる教育、を提供する事を目的としている。

エフタースコーレとは14歳から18歳までが通う全寮制の学校である。公立学校と比べエフタースコーレの特徴は、国語、算数などの基礎的な学習と、芸術やスポーツなどの課外学習とを午前午後で約半分の割合で行っている事である。生徒は勉強をしながら、新しい事に挑戦する事で、自分の将来を明確にしていく。エフタースコーレでは1校に平均100人の生徒が在籍し、全体の60%が10年生を過ごす場として利用している。

今回はエフタースコーレ協会にて、Sune Kobberøさんへのインタビューを行い、その内容をもとに執筆している。

学校の特徴 / 06:エフタースコーレ協会

エフタースコーレでは学校の規模が小さく、生徒と教師が密接な関係を築いている。その背景には、校長と副校長は夫婦の場合が多いため昔の農業コミュニティのように、大家族のような関係を築いている。それに加えて全寮制である事、朝から夜まで教師が学校に在籍している事もあげられる。

学校には政治・宗教の自由が認められており、学校の規模が小さい分、各学校の特色が豊かである。例えば、スポーツに特化した学校や音楽に力を入れている学校などがある。人気校では、入学の3年以上前には満員になる事もある。

授業費用の3分の2は政府によって賄われ、保護者が3分の1を支払う事となる。3分の1ではあるが、年間で6,000~1万2,000ユーロの学費がかかるため決して安い学費ではない。家庭環境や生徒の状況によって援助が受けられる場合もあるが、稀である。

教師 / 06:エフタースコーレ協会

各学校が様々な分野に力を入れているため、その分野に特化した教師が在籍する傾向にあり、教員としての経験と知識があれば、教員免許は必ずしも必要ではない。例えば、スポーツ選手として活躍していた人、プロの音楽家を目指していた人など多岐にわたる。

教師は授業を教えるだけでなく、生徒と密接に関わりを持つ為にも生徒一人一人のスーパーバイザーとしての役割も持つ。平日は教師と生徒の関係を保ち、休日になれば友達のように一緒に映画を見たり、ピクニックに行くなど、メリハリをつけている。そのため、卒業した後も生徒と教師は連絡を取り合ったりするなど、信頼関係を築いている点が公立の学校と比べて特徴的である。



学校生活 / 06:エフタースコーレ協会

学校は全寮制であるため、生徒は2人から4人で部屋を共有し、衣食住を共にする。公立の学校では友達になる機会のない、趣味や得意なことも違うタイプの生徒同士が同じ部屋になり、協力し合うのは容易ではない。

他にも、食事の配膳作業や、片付け、掃除など生活する上で必要な事は全て生徒が分担して手伝っている。時には授業の代わりにこれらの手伝いを優先させる事もある。家庭では当たり前に出ていた朝食も、他の生徒よりも早起きして準備することで、両親へのありがたみを感じたり、仕事を通じて自分の存在価値を見出していく。

これらの活動から、社会性や協調性を育てている。

エフタースコーレのメリット / 06:エフタースコーレ協会

エフタースコーレの大きなメリットとしては、エフタースコーレ協会のSuneさん曰く、新しい事に挑戦し、家族以外の人と衣食住を共にする事によって、集団の中での自分を発見する事が出来る事である。

エフタースコーレで1年を過ごした子供は学校での生活を通して自分の将来が明確になる事が多く、自分の目標や夢にあった進路や高校を選ぶことが出来るため、他の子供と比べ、成績が良い、中退が少ないなどの傾向がある。自分の将来の目標が明確でないまま進学してしまうとやる気が出なかったり、自分を見失ってしまうことが多いからだという。

他にも、学校の中や共同部屋で問題が発生した時には自分たちで解決しなければならず、他に逃げ場もないため、壁に何度ぶつかっても自分たちで解決するという経験が社会での協調性を育てるという。Suneさんの経験から見ると、エフタースコーレに通った子供たちは社会に出た時にチームワークの必要となる仕事についたり、ボランティア活動に参加する傾向があるという。



残る偏見

エフタースコーレは30年前には100校しか存在しておらず、比較的
学校で問題のある子供が通う学校であった。今では10年生を過
し、自分の将来を考える為に学ぶ場所が変わってきているが、未
だに偏見を持つ両親や祖父母も多く、都市部から通う子供が少な
い。コペンハーゲン近郊でエフタースコーレに通う子供の割合は
5%。それに比べその他の地域からは35%と差がある。今後はどう
都市部にも浸透させていくかが課題である。



近年の傾向

近年では、ITやビジネスに注目が集まっている。音楽や演劇など
に力を入れた学校が昔は多かったが、近年では人気がなくなりつ
つある。その為、エフタースコーレでは2、3年前からビジネスのク
ラスを増設した学校もある。その他にも、公立学校が昔と比べて課
外活動が充実してきたため、今後は公立学校との差をつける、そし
て社会の要求に適した学校作りが課題となる。

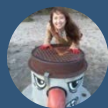
全体把握に参考にした資料群

- Efterskoleforeningen: Sune Kobberøさんへのインタビュー(2016年11月14日)
- Efterskoleforeningen: <http://www.efterskoleforeningen.dk/>



japanordic
北欧研究所

デンマークの保育・教育制度



小川 桃子



@japanordic



Japanordic



info@japanordic.org

北欧研究所 | Toftholm Alle 7, 2900 Hellerup Denmark | <http://www.japanordic.com/>

design by RECOLORD.